

「やまがた太陽と森林の会クレジット」販売要領

(趣旨)

第1条 この要領は、山形県が運営・管理する「やまがた太陽と森林の会」が、J-クレジット制度に基づき認証を受け、取得したクレジットを、購入を希望する者（以下「購入希望者」という。）に販売するにあたり必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) J-クレジット制度

「国内における地球温暖化対策のための排出削減・吸収量認証制度実施要綱」（平成25年4月17日付け経済産業省、環境省、農林水産省策定）及びこれに付随する諸規定等（J-クレジット制度認証委員会が制定するものを含む。）に基づき、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組みによる、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国が認証する制度をいう。

(2) クレジット

J-クレジット制度の認証基準に従い、J-クレジット認証委員会により、認証・発行された二酸化炭素の削減量及び吸収量をいう。

(3) 再エネ電力クレジット

クレジットのうち、J-クレジット制度プロジェクト計画書「山形県における太陽光発電設備の導入によるCO2削減事業」（プロジェクト番号P41）により認証・発行されたクレジットをいう。

(4) 再エネ熱クレジット

クレジットのうち、J-クレジット制度プロジェクト計画書「山形県における木質バイオマス燃焼機器の導入によるCO2削減事業」（プロジェクト番号P42）により認証・発行されたクレジットをいう。

(4) J-クレジット登録簿

J-クレジット制度に基づき発行されるクレジットを管理し、その取得、移転及び無効化について、電子的に記録したものをいう。

(5) 保有口座

J-クレジット登録簿において、クレジットを取得しようとする者の申請に基づき開設される、クレジットを保有するための口座をいう。

(6) 移転

J-クレジット登録簿上でクレジットの保有者を変更することをいう。

(7) 無効化

オフセットで使用したクレジットが再販売又は再使用されることを防ぐために、無効にすることをいう。

(購入希望者の募集)

第3条 購入希望者の募集は、県ホームページ等により行う。

2 再エネ電力クレジット及び再エネ熱クレジットの販売は、それぞれ県が保有する数量の範囲内で期間を定めて行うものとし、県ホームページ等に受付期間及び販売予定数量を公表するものとする。

(最低販売数量、最低販売単価及び販売制限数量)

第4条 再エネ電力クレジット及び再エネ熱クレジットの最低販売数量及び最低販売単価は、それぞれ募集の都度、県が別に定める。

2 購入希望者あたりのクレジットの販売制限数量は、募集の都度、県が別に定める。

3 前項の販売制限数量は、再エネ電力クレジット及び再エネ熱クレジットの合算によることとし、一方のクレジットについて第6条第6項の規定により購入決定の通知を受けた者がもう一方のクレジットの購入を希望する場合の販売制限数量は、前項の販売制限数量から当該通知により決定した販売数量を引いた数量とする。

(購入の申込み)

第5条 購入希望者は、受付期間内に、購入申込書(様式第1号)を持参、郵送(必着)又は電子メールのいずれかの方法により、県に提出するものとする。

2 前項の規定は、次に掲げる者を対象外とする。

(1) 法令又は公序良俗に反する者

(2) 暴力団又は暴力団の統制下にある者

(3) 他者に転売することを目的にクレジットの購入の申込みをする者

(4) その他クレジットの販売先として適切でないと認められる者

3 県は、第1項の提出があった場合で必要と認めるときは、購入希望者に対し、資料の提出を求めることができる。

(購入予定者の決定)

第6条 県は、前条の規定による申込みがあった場合は、当該申込みの内容を審査のうえ、最低販売単価以上の購入希望単価かつ最低販売数量以上の購入希望数量を提示した者のうち、以下の各号に掲げる順に購入予定者を決定する。

(1) 購入希望単価がより高額である者

(2) 購入希望数量がより多い者

2 前項において、販売予定数量から上位者への販売数量の総和を差し引いた数量(以下「残数量」という。)又は販売制限数量のいずれかが購入希望数量を下回る場合にあっては、当該購入希望者は、購入申込書に記載した購入希望単価で、残数量又は販売制限数量のいずれか小さい方の数量を購入するものとする。

3 第1項において、同一の購入希望単価かつ同一の購入希望数量を提示した者が複数おり、かつ当該購入希望者の購入希望数量又は販売制限数量のいずれか小さい方の総和が残数量を上回る場合にあっては、当該購入希望者は、購入申込書に記載した購入希望単価で、残数量を当該購入希望者数で除した数量を購入するものとし、その数量は小数点以下を切り捨てた1トン(t-CO₂)単位とする。

4 第1項の規定により購入予定者が全て決定し、かつ残数量がゼロで無い場合には、残数量を新たな販売予定数量に読み替えるとともに、購入希望数量から販売数量を引いた数量を新たな購入希望数量に読み替えることにより、再度、第1項の規定により購入予定者を決定する。この場合、既に購入予定者として決定している者については、最低販売数量及び販売制限数量による制約を受けないものとする。

5 第1項の規定にかかわらず、最低販売数量と販売予定数量が同量の場合にあっては、当該購入希望者のうち最も高額な購入希望単価を提示したものを購入予定者とする。なお、最も高額な購入希

望単価を提示した者が複数いる場合には、当該購入希望者は購入申込書に記載した購入希望単価で、販売予定数量を当該購入希望者数で除した数量を購入するものとし、その数量は小数点以下を切り捨てた1トン（t-CO2）単位とする。

6 県は、販売の可否について購入希望者に書面により通知する。

（契約の締結）

第7条 県は、前条の規定により購入予定者を決定したときは、契約書を作成し、契約を締結する。

（代金の納付）

第8条 購入予定者は、クレジットの売買代金を、県が指定する期日までに、県が発行する納入通知書により納入するものとする。

（クレジットの移転）

第9条 県は、購入予定者からの売買代金の納入を確認した後、J-クレジット登録簿の操作により県の保有口座から購入予定者が指定する保有口座へ、クレジットの移転を行うものとする。

2 購入予定者が口座を保有しない場合又は口座を指定しない場合は、県が代理でクレジットの無効化を行うことができる。

（協議）

第10条 この要領に定めのない事項について疑義が生じた場合は、県と購入希望者又は購入予定者双方が誠意を持って協議し、解決を図るものとする。

（その他）

第11条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、県が別に定める。

附 則

この要領は、平成29年1月31日から施行する。

この要領は、平成30年1月31日から施行する。

この要領は、令和3年11月29日から施行する。

この要領は、令和6年11月11日から施行する。